

全日本プロバス協議会

古賀新執行部初の理事会を開催

全日本プロバス協議会古賀靖子執行部初の理事会が9月30日、東京・渋谷の代々木倶楽部で開催されました。出席したのは、常任理事は7名全員、理事は12名中6名、合わせて13名、それに全日本事務局幹事1名でした。

古賀会長が議長となり6つの議案の審議、3つの報告、それに退会クラブ等に関して懇談が行われました。特に、会員増強を目指しロータリークラブとの連携を模索する、ホームページを開設する、第10回総会開催のホストクラブを東京八王子プロバスクラブとする等が決定しました。

今回は、議案をしっかり審議していただくだけでなく、理事の皆様が意見交換できるよう協議時間をたっぷり取り、和やかで充実した理事会となりました。さらに、会議終了後は別部屋で茶話会が開かれ、情報の交換や懇親を深めました。以下、理事会の審議内容等を報告いたします。(幹事長：松本忠)



東京・渋谷の代々木倶楽部で(以下敬称略)
(後列左から)住吉、松本、田口、岩城、須郷、正親、小丸、内富
(前列左から)竹原、川端、古賀、山内、島村、熊本

2018年度の事業報告と2019年度の事業計画を承認

2018年度の事業報告は、現執行部が第8回総会で発足した昨年11月28日から今年度末の今年6月30日までの活動で、主な報告内容は次の通りです。

- ▽全日本協議会の会員名簿の整備。
- ▽支出の明朗化を図るなど会計の整備。
- ▽情報交換のスピード化と経費節減を目指し電子メールを活用するなど情報伝達の電子化。
- ▽会員クラブはもとより、プロバスに関心を持つ一般の人や団体にも情報を提供する全日本プロバス協議会の「ひろば」「ニュース」の発行。
- ▽常任理事、理事が全日本協議会の抱える問題を共有し、共通認識を高めるための「持ち回り常任理事会」

「持ち回り理事会」の開催。

- ▽5月に全日本常任理事会の開催。

2019年度事業計画案では、2018年度の事業内容に加え、次の事業計画を提案しました。

- ▽第9回総会&五所川原大会の成功に向けて準備する。
- ▽ロータリークラブとの協力体制を整え、会員クラブ及び会員クラブの会員の増強を目指す。
- ▽全日本協議会のホームページを立ち上げ、2020年1月1日の運用開始を目指す。

以上の2議案は理事会で原案通り承認、可決されました。

2018年度収支実績報告と2019年度補正予算案を承認

次は、2018年度の収支実績の報告と、2019年度の補正予算案です。

2018年度の収支実績では、昨年11月の第8回総会では繰越金が56万 2143円となっていました。同年12月に実際に引き継いだ金額は2018年度会費分を含め38万387円で、竹原会計が繰越金減の理由を説明しました。さらに、会則に基づき初めて賛助会員を募集。その結果、25個人、5団体から合わせて56万5000円の協賛金が集まり、活動の継続が可能となりました。

その活動に伴う支出は、全日本協議会用パソコンとプリンターの購入、ホームページ開設を目指しての制作管理会

社との契約、「ひろば」「ニュース」関連の広報費等でした。

2019年度補正予算案は、第8回総会で決定した予算案が実情に合わず、賛助金の見通しや諸活動の拡大に伴う支出増を勘案して大幅に組み替えました。その結果、収入は繰越金を含め110万5547円、支出は87万3000円、次年度の繰越金は27万2547円となりました。当初、修正案として提出しましたが理事提案により補正予算案と変更し、可決されました。

なお、今年度の賛助会員の募集は11月から行う予定であることが報告されました。

第9回総会&五所川原大会の宿泊予約は済み了吗か？

来年8月8日に開催される第9回総会&五所川原大会について、ホストクラブである五所川原プロバスクラブの島村吉三久様(全日本副会長)から次の報告がありました。

地元のフラワー観光が第9回総会に向けて130室の宿泊を確保、9月10日に全国の会員クラブに宿泊予約の案内はがきを投函しました。その結果、大口の予約が殺到して9月末現在で約30室しか残っていないそうです。早めの申し込みをお勧めします。

引き続き同クラブは同月、正式な案内状を出し、準備の必要性から参加者の概数の報告を求めています。具体的な参加者名の報告は年が明けてからだと思われませんが、会員クラブの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、三村美千代氏の講演の演題が「恋する心は変わらずに～今も昔も～」と正式に決まったそうです。「令和」にちなんだ万葉集のお話です。

総会次第及び議題は年が明けてから検討する予定です。

ロータリークラブとの協力関係を深めよう

全日本プロバス協議会の組織は一体どうなっているのでしょうか。事務局で調べた結果を報告いたします。

- ▽昭和63年の第1号(上郡プロバスクラブ)以降誕生したのは117クラブ
- ▽現在活動しているのは90クラブ
- ▽会費を納入した2018年度末現在の会員は67クラブ

また、今年7月に実施したアンケート調査(回答数46クラブ)の結果、

- ▽会員数は多い順に①10～14名が30.4%②20～24名が26.1%③40～49名が10.9%で、最も多いのは旭川プロバスクラブ(北海道)の98名、最も少ないのは龍神プロバスクラブ(和歌山県)の5名でした。

▽ロータリークラブを親クラブとしているのは93.5%で、現在も交流があるのは82.6%でした。

これらの数字を踏まえ、理事会では今年度、ロータリークラブとの協力関係を深めて全日本協議会の組織強化と、会員クラブでの会員増を図っていく方針を決めました。

具体的にどう進めていくかなど活発な意見交換が行われ、常任理事や理事が中心となり働きかけることを決めました。また、全日本事務局でも行動を起こすことを検討しています。

さらに、理事会では全日本プロバス協議会発行の「ひろば」「ニュース」を全国34名のガバナーに配布してはどうかなどの提案もありました。

会計年度と常任理事・理事の任期が連動していない？

また理事会では、「会計年度は7月から始まり翌年の6月末までとなっているのに、選出される常任理事、理事は『総会において選出する』となっていて、会計年度と常任理事・理事の任期が連動し

ていない。また、総会の開催月は昨年11月だったが来年は8月で一定していない」との指摘がありました。協議した結果、「会則の改正を含めて再検討しよう」と決まりました。

新監事に鎌倉クの正親陸弘氏

全日本プロバス協議会の監事(常任理事)だった福岡城東プロバスクラブの中村義隆氏と理事だった伊藤雅敏氏が6月末に退任されました。5月の常任理事会では新年度は両ポストとも欠員扱いとすることが決まりましたが、古賀靖子会

長から理事会に「監事は収支の監視役であり、補充する必要があるのでは」と提案、承認されました。



理事は欠員のままで、監事の人選

については古賀会長一任となりました。

その後、古賀会長は鎌倉プロバスクラブの正親睦弘氏(全日本理事)＝写真＝に監事就任を打診、承諾していただきましたので、報告いたします。正親氏に打診したのは、関東ブロックには常任

理事が不在であること、2017年度まで鎌倉プロバスクラブから監事が出ていた等の理由からです。正親監事の任期は前任者の残任期間の来年8月の総会までです。

来年1月1日付を目途にホームページを開設します

事務局は来年1月1日を目途にホームページを正式に運用開始することを理事会に報告しました。今年6月に、すでにホームページ制作管理会社「有限会社エクスセブン」(本社:東京都八王子市)と契約していますが、今は整備を

進めている段階で、現在閲覧できるホームページはあくまでテストなのでご了解ください。詳細と会員クラブへの協力依頼内容は今号の事務局だよりをお読みください。

「支出に関する基本ルール」を理事会に改めて報告

「支出に関する基本ルール」を新設したのは、執行部による恣意的な支出を防ぎ会員クラブ間で不公平感が生じないように収支をガラス張りにするのが目的です。5月の常任理事会で決定・施行しました。内容は7月1日付「全日本プロバス協議会ニュース」No. 2に掲載した通りで、この日の理事会に改めて報告しました。

ルールの中に、会長、副会長、幹事長が周年事業等に出席した場合片道交通費を3万円を限度に補助する取り決めがありますが、理事会では、副会長への補助について質問があり、「会長代理で出席した副会長のみが対象」と説明しました。これは、6月の持ち回り常任理事会で協議、決定したものです。

第10回総会ホストクラブは東京八王子プロバスクラブに決定

古賀会長から理事会に、第10回総会開催のホストクラブに東京八王子プロバスクラブが内定したことを報告、満場一致で承認されました。

簡単に経過を説明しますと、①全日本協議会の総会が第7回北九州、第8回

四日市、第9回五所川原と地方での開催が続いており、第10回総会は交通の良い関東がふさわしい②東京八王子プロバスクラブは創立25年の歴史を積み重ね、現在も奉仕活動、同好会活動などを活発に続けている——ことから

東京八王子プロバスクラブが最適候補と判断、6月の東京多摩プロバスクラブ15周年行事に参加した際に古賀会長から当時の馬場征彦会長に打診しました。

東京八王子プロバスクラブは内部検討を重ね、最終的には9月12日に開いた臨時総会で、ホストクラブ受け入れを決議していただきました。

新旧合同理事会 来年7月15日に東京で開催

理事会で協議した結果、次回理事会を来年7月15日に東京・渋谷の代々木倶楽部で開催することが決まりました。第9回総会&五所川原大会が来年8月8日に青森県五所川原市で開かれるので、例年より約2か月半早い開催です。

第9回総会は人事案件があるほか、総会当日に理事会を開催する時間的余裕がないため、昨年通り、新旧合同理事会となります。常任理事、理事の皆様は、事前に日程の調整をよろしくお願いいたします。

プロバス紹介 (敬称略)

「ひろば」第2号(9月1日付発行)の追加分

東京品川プロバスクラブ	東京都	会員数 23名(男17名、女6名)
役員	▽会長=樋口保▽副会長=瀬尾理子▽幹事=中村孝三 ▽会計=増田美佐子▽庶務=鈴木茂樹▽監査=中島武久 ▽25周年実行委員長=鷓橋誠一	
	役員任期= 1年間	次期役員改選= 2020年7月
連絡先住所	〒336-0034 さいたま市南区内容6-7-21-112	
連絡者お名前	樋口 保	会長
	電話番号	048-866-5403
	メールアドレス	higuchi.1611@gmail.com





神戸北プロバスクラブ

創立 30 周年記念式典・祝賀会報告

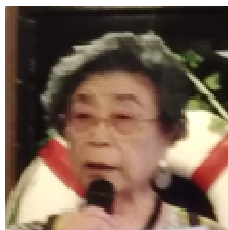
神戸北プロバスクラブ 会長 宮森 勝

令和元年8月8日、例年になく猛暑が続きましたが、お陰様で台風も実施に影響を与える距離に至らず、神戸港内納涼クルーズ Fantasy 号をチャーターし、船上にて、神戸北プロバスクラブ 30 周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。

式典には国際 R 第 2680 地区ガバナーエレクト高瀬英夫様、神戸西 RC 会長西川嘉延様、山田博補様、ご遠方より全日本プロバス協議会会長古賀靖子様、“会長様には祝電もいただきました” 幹事長松本忠様、副会長川端崇且様、常任理事熊本國勝様、姫路南 PC、尼崎 PC、大阪 PC、奈良 PC、並びにサポーターの皆様方総勢約 60 名の参加を頂きました。

ビュッフェスタイルの料理をつまみながら、港内でも港内観光船は揺れるものだと実感して頂き、sunset cruise で、夕焼け空の昼から夜への変化と水際から六甲山麓へ延びる神戸市街の夜の街の灯をお楽しみ頂けたと思っております。“楽しくなければプロバスでない”を頭に、少人数クラブの会員及び Fantasy 号の乗員の加勢を得て努力致しましたが、行き届かない点は当クラブの実態であるのご理解頂き、ご容赦下さい。

神戸北 PC は、歴史は長いですが、活動は他の多くのクラブとは多少異なる活動を致しております。最後に「線路は続く」の替え歌を歌って着岸後解散致しました。



全日本 PB 協議会
会長 古賀靖子様



明石大橋の夜景



神戸西 RC プロバス
委員長 山田博補様





横浜まろにえプロバスクラブ

創立 10 周年記念祝賀会・開催報告

横浜まろにえプロバスクラブ 事務局長 津田宏之

横浜まろにえプロバスクラブ(会長:荻久保義功)は2019年9月26日(木)に「創立10周年記念祝賀会・Lunch Time Concert 2019」を横浜市内みなとみらい地区の横浜ロイヤルパークホテル、スカイバンケットルーム「レインボー」を会場として開催いたしました。

当クラブは、2009年(平成21年)9月横浜市港南区港南台地域を拠点として、横浜港南台ロータリークラブ支援の下で創立しました。当初「横浜港南台プロバスクラブ・まろにえ」の名称で創立しましたが、会員は港南台地域のみならず横浜市内の幅広い地域に広がってきたところから、2017年(平成29年)に現在の名称に変更しました。「まろにえ」は会発祥の地(港南台地域)の街路樹の花木「マロニエ」として親しまれているところから命名しています。クラブの理念(目的)は「親睦を図ること、互いに協力し合うこと、学び合って自己研鑽に努めること、人生経験・知識などを地域社会に役立

てることによって、セカンドライフを充実させること」です。現会員数は25名(男性17名、女性8名)です。

この10年の節目にあたり、記念の祝賀会を開催いたしましたところ、横浜港南台ロータリークラブ添田悦子会長、地元港南台商店会安藤佳之会長、全日本プロバス協議会の古賀靖子会長の御臨席を賜るとともに、神奈川県下の横濱プロバス倶楽部、鎌倉プロバスクラブ、横浜グリーンプロバスクラブ、川崎西プロバスクラブ並びに東京八

王子プロバスクラブから多くのご参加をいただき、クラブ会員以外の知人友人を含め総勢60名の祝賀会となりました。この祝賀会では、地元でご活躍のヴァイオリニスト寺尾美紀様と倉本和希子様のご協力を頂き、第一部は *Lunch time Concert* として、美しいヴァイオリンの音色をお楽しみいただきました。第二部では祝宴ご会食、ご来賓の方々のご挨拶、古賀会長の乾杯とご



挨拶に始まり、功労者への記念品贈呈、ヴァイオリンと二胡による伴奏でカラオケ同好会による合唱を披露し、参加者も一緒に口ずさんでいただき、盛り上がりました。天候に恵まれ 70 階の会場から眼下

に広がる横浜市街を眺められましたが、遠くの富士山は霞のため望めませんでした。古賀会長始め、参加された皆様に感謝申し上げます。

事務局だより

ホームページを構築中です

2020年(令和元年)1月元日運用開始を目標にホームページ構築中で

す。家に例えるならようやく柱が組みあがったところで、外壁、内装、仕上げは今からです。

ホームページを活用してプロバスの活動を、プロバスに関心のある人々や団体にPRできれば、と思っています。すでにホームページをお持ちのクラブはリンクして情報を全国に発信したいと思います。今回の「全日本ニュース」をメールで受信されているクラブはぜひ、その返信を利用して「ホームページリンクOK」の連絡を下さい。承諾の得られたクラブから順次リンクさせていきます。

ホームページのアドレスは

<https://www.all-japan-probus.com/> です。

「全日本プロバスクラブ協議会」と入力すると検索でも出てきます。

また、現在、ホームページに「プロバスとは」「全日本プロバス協議会会則」、発行済みの「全日本ひろば」「全日本ニュース」などを掲載していますが、テスト段階です。他に「こんな情報を発信したらどうか」などいい知恵があれば、連絡ください。問い合わせコーナーからも連絡が取れます。

全日本プロバスクラブ協議会事務局

ホームページ担当 安高 洋一

アドレス h-yasutaka@ktb.biglobe.ne.jp

2019年度賛助会員の募集を開始

全日本プロバス協議会は、2019年度(令和元年度)の賛助会員の募集を11月1日から開始します。

「賛助会員制度設置内規」によりますと、賛助会員は協賛金を拠出することにより、全日本プロバス協議会の運営と発展に寄与するとなっています。その賛助会員の対象は賛同する個人や団体、企業などで、協賛金額は1口1万円です。

2018年度は25個人、5団体が賛助会員となり、総額56万5000円の協賛金が集まりました。今年度も、できるだけ多くの個人や団体に賛助会員になっていただきたく、お願いいたします。

「ひろば」の特集「楽しくなければプロバスではない」 原稿を募集

全日本プロバス協議会の「ひろば」を来年1月元日付で発行する予定です。

特集のタイトルは「楽しくなければプロバスではない」としてありますが、「楽しい」ということは「生きがいを感じる」「充実している」ということも含めていいと思います。会員クラブの様々な創意工夫の情報を「ひろば」誌面で交換し、学び合うようにしたいと考えております。次の要領でぜひとも提稿をよろしくお願いいたします。

▽原稿の長さ

長さは問いません。一応は、1クラブ1ページ程度。500～700字程度を目安に。

▽写真の提供を

内容に即した写真を2枚以内の見当で。
筆者の顔写真は必ずお願いいたします。

▽原稿の締切

1次締切 10月30日
2次締切 11月15日
最終締切 11月30日

▽原稿の送信先(できるだけメールで。郵送でも結構です)

全日本プロバス協議会 幹事長 松本 忠

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町13-13-522

電話&FAX 093-967-9925 携帯

080-1903-3014

メールアドレス pycts423@ybb.ne.jp

「ひろば」掲載の一般原稿も募集します

会員クラブの様々な情報提供、ご意見、ご提案など何でも結構です、上記の送信先に原稿をお送りください。文字通りの「ひろば」誌面にしようではありませんか。